

会 議 概 要

会議の名称	第7回伊予市食育推進会議
開催年月日	平成27年2月13日（金）
開始・終了時刻	午後3時00分から午後4時00分
開催場所	伊予市保健センター
会長氏名	坂本勇人
副会長氏名	吉澤三千久
出席委員（者）氏名	坂本勇人、佐々木典彦、高岡小夜子、西田仁美、松本洋子、西岡榮一、上岡慎市、岩村正雄（平内修代理）、重松香織、向井早苗、岡田桂子、平岡由美子、西村淳子、荒木周一郎、西川重子、武智茂記（野島孝美代理）、亀岡泰三、米湊誠二、鶴岡正直、田中 浩（大西昌治代理）、武智 亨（安田敦代理）
欠席委員（者）氏名	吉澤三千久、久保井誠、水口俊三、仲神正樹、水木一弘、玉井 彰、谷本圭司、武田淳一、坪内圭也
傍聴者氏名	傍聴者なし
説明者の職氏名	山内主査、戸田主任
事務局職員職氏名	室健康増進課長、金山課長補佐、篠原課長補佐、山内主査、戸田主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 会長 坂本 勇人 3 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 伊予市の食育推進の状況について <ul style="list-style-type: none"> ・伊予市の食育関係事業について ・社会教育課の食育の取り組みの報告 ・地産地消の推進について (2) 今後の食育推進について <ul style="list-style-type: none"> ・伊予市食育1・4推進計画見直しスケジュールについて ・来年度の食育関係事業計画 (3) 意見交換 4 そ の 他 5 閉 会
配布資料	資 料 1 伊予市食育関係事業実施一覧 資 料 2 キッズキッチン・各団体からの御意見 資 料 3 社会教育課の食育の取り組み・地産地消の推進について 資 料 4 伊予市食育1・4推進計画の見直しスケジュール（案） 資 料 5 食育推進の年次計画

会 議 録

発言者	会議の概要
<p>15:00～ 開会宣言 事務局</p>	<p>ただいまより、第7回伊予市食育推進会議を開催させていただきます。</p> <p>皆様には御多忙の中、また大変寒い中、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>なお、本会議は、伊予市審議会等の委員の公募並びに会議及び会議録の公開に関する規則にのっとり、市政の公正の確保と透明性の向上のため、原則公開とし、会議内容についても議事録作成のため録音させていただきますので、発言の際にはマイク使用で発言をお願いいたします。</p> <p>なお、市ホームページに会議録を掲載させていただきますことを御了承願います。また、会議録作成後、録音は消去いたしますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>本日の欠席、代理出席の方々について御報告いたします。</p> <p>吉澤委員さん、久保井委員さん、水木委員さん、谷本委員さん、武田委員さん、坪内委員さんが、御欠席ということで御連絡をいただいております。代理ということで、岩村委員さんは平内先生、武智委員さんは野島さん、田中委員さんは安田さん、武智委員さんは大西さんに御出席いただいております。食育関係から家庭教育・子育てサポートグループ代表平岡さんに御出席いただいております。</p> <p>以上、御報告申し上げます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、坂本会長より御挨拶を申し上げます。</p>
<p>会長</p>	<p>坂本でございます。まだまだ寒い日が続きます。伊予路の春は、椿さんが来ないと、来ないというのは本当ですね。インフルエンザも大流行は治まりましたけれども、まだ終息はしておりません。インフルエンザ対策として手洗いとうがい、マスク、そして食育に通じますが、十分な栄養と睡眠に尽きると思います。</p> <p>食育推進会議も第7回になりました。伊予市食育1・4推進計画。計画の期間は、平成23年から27年までの5年間として推進してまいりましたが、平成29年までさらに2年間延長し、見直しをしていくということで、今回、事務局から説明があると思います。</p> <p>また、平成28年9月に、学校給食センターが稼働するということでもあります。地産地消、アレルギーなど、様々な課題があります。先日、第1回アレルギー対策検討委員会が開かれまして、対応マニュアル、また、緊急時対応マニュアルの策定に努力しております。</p>

	<p>教育委員会、医療機関、医師会、消防署、学校、保健センターなど関係機関の連携を強めながら、第2回アレルギー対策検討委員会は、3月に開催されます。</p> <p>また、2017年には愛媛国体が開催され、伊予市では、バレーボールとホッケー、そして、公開競技でパワーリフティングとダブルダッチが行われます。その際に、伊予市の郷土料理を振る舞うという計画があるそうで、今後、地産地消の推進の視点からも、十分に討議をしていただきたいと思います。以上、簡単でございますが、挨拶にかえます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>議事に入ります前に資料の確認ですが、会議資料を各委員さんへ事前にお送りさせていただき御持参いただくようお願いいたしておりますが、お持ちでない委員さんがおられましたら、お知らせください。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議事に移ります。この後の議事進行につきましては、食育推進会議条例第6条の規定に基づき、会長が議長を務めることとなっておりますので、坂本会長さんをお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、会議次第に沿って議事を進行させていただきます。</p> <p>議題1です。伊予市の食育推進状況の1つ目の伊予市の食育関係事業については、資料を事前に皆様に送付しております。御意見等ございましたらお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局からキッズキッチンについて報告させていただきます。資料2をご覧ください。</p> <p>キッズキッチンについてですが、平成27年度の実施計画で、対象者は今までと同じように市内の幼稚園及び保育所の年長児、小学校就学前の5、6歳児を対象として行います。開催場所は保健センターの調理実習室で行います。開催回数ですが、平成26年度、27年度の2年間で市内の全幼稚園、保育所各1回開催します。来年度からの新しい取り組みといたしまして、キッズキッチン開催の対象園に天使幼稚園を加えます。</p> <p>キッズキッチンでは、来年度も今年度と同様、庁内のキッズキッチン担当職員と食育推進連絡会で連携して実施いたします。</p> <p>天使幼稚園の参加については、天使幼稚園園長より開催してほしいという希望がございました。食育推進連絡会で検討した結果、私立幼稚園の天使幼稚園は園児のおよそ90%が伊予市住民であり、天使幼稚園の年長児もキッズキッチンに参加していただくことになりました。11月に天使幼稚園と協議したところ、年長児が50人おり、</p>

1回では人数が多過ぎて実施できないため、2回に分けて実施することになりました。そのほか、保護者会、役員の手伝いや天使幼稚園の園タクでの送迎などの協力は得られるということを確認いたしました。

新しい取り組みの2点目は、給食だよりに教室の中で行っている旬の野菜について生産者の話を載せることによって、開催園以外の保護者へも地産地消について紹介します。これは健康増進課と給食だよりの担当者とで連携をとって行います。

平成26年度の開催した園については次のとおりでございます。平成26年度、佐礼谷保育所は年長児がいなかったため開催しませんでした。

平成27年度の開催予定園についても次の表のとおりでございます。

次に、参加保護者アンケート結果について報告します。

アンケートの実施方法ですが、キッズキッチンに参加後の保護者にアンケートを配布し回収しました。アンケートの回答数は表にございますように、キッズキッチンを参観した保護者86人です。

子供の家庭での料理経験でございますが、今までに数回と答えた人が一番多く44%でした。料理をしたことのない子供も7%いました。

次に、キッズキッチン参加前の手伝い内容と今後させたいことということですが、参加前に子供さんがしていたお手伝いと、キッズキッチンを参観した後に保護者がさせようと思ったお手伝いについてですが、参加前と参加後で差があった項目は、料理、盛りつけ、食器洗い、食器ふきなどで、参加後はさせたいと考える保護者が多かったです。参加後は少し難しい作業でもやらせてみようと思われるようでした。

キッズキッチンに子供を参加させたいかという問いに対しては、とてもそう思う64%、そう思うというのが35%でした。

ブランド推進課の職員が講師となり子供さんに話をしている伊予市産食材の話聞いて、地元産を買おうと思ったかという質問に対しては、とてもそう思う41%、そう思う55%という結果でございました。

アンケートにキッズキッチンの感想を自由に書いていただきました。家でも子供と一緒に試してみたい。キッズキッチンに参加して子供さんが結構いろいろなことができることに感心した。地元の店の食材を使っており、今後家庭でも利用したい。魚料理は家ではさせたことがなかったので、この経験を生かしてどんどんお手伝い

	<p>をしてもらい、チャレンジしてもらいたい。魚嫌いな子でしたが、自分でつくったかば焼きは全部食べ尽くしてしまいました。みそやしょうゆなどの調味料もなるべく伊予市で購入したいと思ったなどの御意見をいただきました。</p> <p>アンケートのキッズキッチンで料理指導をするボランティアの募集に対して、5名の方が記入をしてくださいました。</p> <p>以上でアンケートの結果について説明を終わります。来年度も子供さんとその保護者の方へ食への関心を持たせ、また家庭での食育につながるよう、よりよい教室にしていきたいと考えております。御意見や御感想などありましたらお伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ほか、どなたか。</p> <p>それでは続いて、社会教育課の食育の取り組みの報告、地産地消の推進について、事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>次に、社会教育課での食育の取り組みについて、伊予市家庭教育・子育てサポートグループの平岡眞由美さんから報告します。</p> <p>資料として「ほのぼの」第15号と公報の掲載ページを配付しておりますのでご覧ください。</p>
伊予市家庭教育子育てサポートグループ代表	<p>皆さんこんにちは。私、伊予市家庭教育・子育てサポートグループの平岡です。</p> <p>今年度の夏に開催いたしました家庭教育・子育て学習会についてお話しさせていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>報告の前に、私たちの活動を少し紹介させてください。</p> <p>私たちは日ごろ地域住民の方に対して家庭教育や子育てに関する情報や学習機会を提供しながら相談活動の充実を図っています。そうして、ともに支え合う家庭、地域づくりを支援する活動を行っています。</p> <p>今回お話しさせていただきます学習会は、親子で遊んで自然に学んでいこうという活動の一つです。お手元の情報誌と広報「いよし」12月号にも今回の学習会の様子を掲載させてもらっております。この「ほのぼの」という会報の中側です。真ん中のほうにあるのが今年度行った活動です。では、報告させていただきます。</p> <p>こちらは平成26年8月11日に実施した家庭教育・子育て学習会の様子です。今年度は地元企業のマルトモ株式会社の職員の方々に御協力をいただいて、日本の伝統食品について教えていただきました。かつおぶしが食卓に届くまでのこと、花かつおに関してのことを学習して、伊予市が全国でもトップの地位を占めていることを親子で知りました。そして、自分たちの育つ地域に誇りを感じました。</p>

こちらは実際に削り節を手にとって比べているところです。カツオだけではなく、トビウオなどいろいろな種類があることを知りました。

だしをとっている様子です。マルトモさんのだしのとり方を実演していただいて、その後実際にだしをとってみました。花かつおだし、花かつおと昆布だし、その他の削り節だしの3種類です。親子でゆっくり時間をかけて取り組みました。

この後の試食で食べるそうめんのつけ合わせに卵焼きをつくりました。子供たちは母親の手際のよさをしっかり見えています。そうして、細く切るのもお母さんと一緒だと上手にできました。

いよいよお楽しみの試食です。献立はそうめん、炊き込み御飯です。炊き込み御飯の具はシメジとニンジン、それからマルトモさんにいただいた麺つゆの味つけで炊き込み御飯をつくりました。今回のそうめんのつけ汁はもちろん丁寧にとつただしでつくりました。すると、カツオの香りがとってもよかったと好評でした。

こちらはだしの味比べをしている様子です。子供でも3種類のだしの違いがわかりました。おいしい、おいしいとおかわりをする子もいました。だしがらも食べてみて、味が出てしまっているけど、おいしいとだしの味をしっかり感じ取っていたことにも感心しました。

マルトモさんに用意していただいた昔ながらの削り節器を使って削り節に挑戦しているところです。意外と器用にみんな削ることができているので、びっくりしました。つつい子育てのときも時間短縮のために手早く親がしてしまっているところを見失いがちな子供の能力を発見できたときでした。

今後も親子がともに学び、ともに食事をつくり、子育てについて見詰め直し、その大切さを感じてもらおうとともに、保護者同士や子供同士が触れ合うことのできる機会を提供していきたいと思っています。

また、今回は地元企業のマルトモ株式会社の皆様にお忙しい中、御協力をいただいて食育に関する学習ができ、大変よかったです。御協力いただいたからこそ専門家による本物を体験させていただくことができました。

さて、現在愛媛県では、えひめ家庭教育サポート企業連携事業を推進しています。この事業は家庭教育について子供たちを健やかに育てるための活動等に積極的に取り組む企業さんのお力をおかりし、家庭教育支援の充実と広がりを目指すものです。愛媛県下でマルトモ株式会社を初め59社の企業さんが協定締結し、事業に取り組

	<p>んでくれています。私たちも引き続き家庭で、地域で、ともに支え合いながら、地域ぐるみの子育てができるように環境づくりを支援していけるよう励んでいきたいと思っています。</p> <p>以上で私たちが昨年行いました家庭教育・子育て学習会の報告を終わります。ありがとうございました。</p>
事務局	次に、地産地消の推進について、事務局の戸田から報告します。
事務局	<p>事務局の戸田です。地産地消の推進について、食育推進連絡会地産地消班の今後の取り組み等を報告させていただきます。</p> <p>資料3をご覧ください。</p> <p>地産地消班、今後の取り組みについて、まず学校給食の地元産使用率の向上です。</p> <p>学校給食には、現在おひさま市や住民自治されだにとの連携強化により、確実に地場産品の使用率が向上しております。今後も供給体制の強化や価格設定の調整、配送問題の解消等による供給量のさらなる増加を目指します。</p> <p>次に、保育所給食の地元産使用率の向上です。保育所給食は学校給食に比べ規模が小さく、それぞれの園に調理場があることから、地産地消が進めやすいのではないかと考えられます。現在の地場産品使用率や問題点などを調べ、保育所給食の地元産使用率を向上させていくことを今後の目標としていきます。</p> <p>次に、地産地消の情報発信です。現在学校や保育所で実施されている独自の食育事業がたくさんあるのではないかと考えて、それらを公表していただき、「P@CKTTO！」(ぱくっと!) など情報誌であるとか広報などで地域にPRしていこうと考えております。</p> <p>次に、出荷実績基礎調査の経過報告です。昨年12月に伊予市の農産物の出荷実績の把握を目的に、出荷実績基礎調査を実施し、1月の末に調査結果を提出していただきました。調査区分は、野菜、米穀、かんきつ、落葉果樹、加工食品、町家のみですが、加工食品です。調査協力団体は町家、中山特産品センター、JAえひめ中央です。</p> <p>内容は、町家、中山特産品センターにおきましては平成25年度月ごとの取扱件数、JAえひめ中央は平成24年度地域ごとの作付面積と出荷数量となっております。</p> <p>資料を1枚めくってください。</p> <p>こちらの表が町家の平成25年度月ごとの取扱件数です。次のページが中山特産品センターの平成25年度月ごとの取扱件数です。町家同様、野菜ごとの月々の取扱件数が載せてあります。そして最後の</p>

	<p>ページは、平成 24 年度北山崎、南山崎、上灘、下灘、南伊予、中山地域ごとの作付面積と出荷実績で、J A えひめ中央に協力していただいたものです。今後、これらの資料は連絡会でわかりやすくまとめ、学校給食、保育所給食、市で実施している食育教育などで積極的に地元農産物を利用し、伊予市の特産品を P R していく資料として活用していきます。</p> <p>以上で伊予市の食育推進の状況について説明を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>どなたか御質問、御意見ございませんか。</p> <p>続きまして、議題 2 です。今後の食育推進について、事務局からお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料 4 をご覧ください。</p> <p>伊予市食育 1・4 推進計画の見直しスケジュール案についてです。</p> <p>前回の会議で食育 1・4 推進計画の見直しについて説明させていただきました。今回、スケジュール案を事務局で作成いたしました。前回の会議で計画を 29 年度まで延長し、改訂版を作成すると説明しましたが、事務局で検討し、改訂版は作成せず、計画期間を 29 年度までに変更する案となっておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>変更後のスケジュール案を図で示してあります。</p> <p>28 年度、29 年度は改訂版を作成せず、現計画を続行します。来年度、評価と次期計画作成のためのアンケート案を協議検討し、28 年度、29 年度にかけてアンケートから現状を把握し、課題を見つけます。また、現行の計画の評価を行い、次期計画の改定作業を進めていくスケジュール案でございます。</p> <p>次に、2 年延長する理由についてですが、伊予市食育推進計画、健康づくり計画を総合的に推進するという点で当健康増進課では健康づくり計画を立てていますが、第 2 次伊予市健康づくり計画は、平成 29 年度が中間評価となっております。伊予市特定健康診査等実施計画は同じく平成 29 年度に見直し、30 年度からの第 3 期の計画期間となります。中間評価や特定健康診査等実施計画第 3 期の作成の時期と食育計画の見直しの時期を合わせることで、食育推進計画と健康づくり計画を効果的、効率的に進めることができます。</p> <p>また、第 2 次伊予市食育 1・4 推進計画の期間を平成 30 年度から平成 35 年度までの 6 年計画とすることを考えています。理由は、健康づくり計画には、主食、主菜、副菜のそろった栄養バランスのよい食事の実践、朝食、健診受診などの重複する部分が多くございます。そこで、第 3 次健康づくり計画と計画の期間を合わせて、平成 36 年度からの健康づくり計画に食育推進計画を含めていく案を考えております。</p>

	<p>メリットとしては、食育推進計画と重複する健康づくり計画の中の健康づくりや栄養、食生活、歯の健康に関する生活習慣の改善及び社会環境の改善などの分野を、整合性を図りながら総合的に推進しやすくなるということがございます。食育計画の4つの基本目標のうち、栄養分野と健康分野は健康づくり計画と一体的に進めることができます。</p> <p>図には国、県の計画期間についても示しております。本市の計画改定の時期を2年延長し、国、県が策定する第3次計画に基づいた計画策定をいたします。</p> <p>今後は、委員の皆様方には段階的に推進状況を説明して意見をいただいております。平成27年度からは、計画の推進と並行して次期計画策定のための作業を進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>どなたか御意見、御質問ございませんか。</p> <p>では、議題3、意見交換ということでございます。食育に関する意見や課題などについて御意見いただきたいと思っております。いかがでしょうか。その他、事務局から、補足説明はございませんか。</p> <p>はい。どうぞ。</p>
委員	<p>経済雇用戦略課でございます。平成26年度食育事業実施状況には、栗まつりのことが書いてありますが、これ以外について報告させていただきます。</p> <p>先日、2月5日から8日にかけて、大阪で物産フェアを開催いたしました。関係団体にも御協力をいただき、伊予市の特産品をPRすることができました。</p> <p>また、伊予商工会議所で、伊予市の特産品を使ったスイーツの開発事業をしております。その、公募で選ばれた優勝、準優勝の作品の受賞式を昨日、行いました。今朝の愛媛新聞の折り込み広告でご覧になられている方もいらっしゃると思っております。明日、町家で受賞したスイーツの試食会がございますので、お知らせしたいと思います。以上です。</p>
委員	<p>ブランド推進課でございます。3点、食に関するイベントの紹介をさせていただきます。</p> <p>1つ目は、伊予市出身の料理人、中川優先生の中国料理教室の開催でございます。明日、保健センターを利用し、午前の部、午後の部と2回、開催いたします。講師の中川優先生は、陳建民氏の一番弟子として修行され、東京で活躍されている方でございます。</p> <p>2つ目ですが、「双海柑橘生産者大会」で高い評価を受けた柑橘の生産者の表彰式が、明日行われます。併せて柑橘についての研修会も開催され、品評会に展示した柑橘の販売もされるということです。</p>

	<p>多くの皆様に、すばらしい柑橘を味わっていただきたいと思います。</p> <p>3つ目ですが、先ほど経済雇用戦略課より観光物産フェアのご報告がありました。私も、農業分野として物産フェアに携わり、「甘平」という新しい品種のミカンをPRしてまいりました。今愛媛県では、高級柑橘の販売に力を入れておりますが、2月には、この「甘平」という柑橘も出てまいります。物産フェアでは、関西の方に、実際に試食していただきまして、販売価格は高めですが、おいしいからと買って帰られる方が多く、今後、有望な農作物であることを実感いたしました。</p> <p>以上、ブランド推進課の食の事業を御報告させていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。先ほどお話に出た、甘平。ラジオで、東京では、1個1,000円ほどすると言っておりました。糖分がすごく高くて、おいしいですね。甘平、愛媛発祥なのでしょう。</p>
委員	<p>はい。皆さまにも、ぜひ広げていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>その他、どなたかいらっしゃいませんか。</p> <p>それでは、以上をもちまして議事を終わらせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>坂本会長におかれましては、長時間にわたり議事進行お世話になりました。</p> <p>最後に、その他の項目ですが、何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>失礼いたします。中国四国農政局松山地域センターでございます。</p> <p>日ごろは農林水産行政に御理解と御協力を賜りましてありがとうございます。</p> <p>「我が国の食生活の現状と食育の推進について」という、27年1月に農林水産省から公表されて、ホームページにも載っております資料を、参考にお持ちいたしました。こちらは農林水産省が本年度実施しました食育活動の全国展開委託事業ということで、その中間取りまとめ、その他を踏まえてまとめた現時点での食育推進についての資料となっております。</p> <p>まず、資料3ページ、日本型食生活についてです。日本型食生活については、日ごろ意識されている方、意識しているけど実践できていない方とかいらっしゃるのですが、実効性の高い日本型食生活の推進ということで、全て手づくりではなく、お総菜であったり、外食であったり、そういうものも利用していこうという方向に、今のところなりつつあります。</p> <p>また、食育推進基本計画について、来年、28年3月には第3次食育推進基本計画がまとまる予定となっております。</p>

	<p>その他の食育推進の体制等、また農林水産省が行いました取り組み等を後半に載せております。お帰りになってご覧いただけたらと思います。また、御質問等ございましたら、御遠慮なくお問い合わせください。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>その他ございますか。</p> <p>それでは、以上をもちまして第7回伊予市食育推進会議を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様、本日は長時間にわたりありがとうございました。お疲れ様でした。</p>